



銭 亀 沢



【重点教育目標】確かな学びを通して、良さを磨き自らを高める生徒の育成

わが子のことは、親の私が一番よく知っている？

教頭 福留 志織

お子さんがいわゆる『思春期』に入り、わが子だからこそわかる事もあれば、わが子なのにわからない事も多く出てきたのではないのでしょうか？（かくいう私も中学生の子どもがおり、いつもハラハラドキドキさせられています。）

「わが子の事なんだから、親のあなたが一番よく子どもの事を知っているでしょう」とか「仕事から多くの子どもたちを見てきているだろうから、わが子の事もよくわかるでしょ。」と、もし誰かに問われたら、私は「親だからこそ見えにくくなる事がある」と答えるでしょう。むしろ、一人の母親として、わが子に対しては、愛情や心配する気持ちが、ないまぜになってしまい、冷静に客観視できず、正確に見られない事の方が多いかもしれません。確かに、生まれてから一番注意深くわが子の事を見てきたのは親の私たちです。（我が家の場合は祖父母であるかもしれませんが…。）子どもの表情や体調の変化は、親だからこそわかる事が多くあると思います。

しかし反対に、親だからこそ「見えにくい事」もあります。

子どもは「親に心配をかけたくない」という気持ちが働き、本音を隠す事が多々あります。

「最近、学校どうなの？」という問いに「別にいい～まあまあ。」とか「別にいい～楽しくやってるよ。」「別にいい～うまくやってるよ。」と言いながら、子どもは、実は人間関係で悩んでいたりと、勉強に不安を抱えていたり、教室の中で自分をどう表現したらよいのかや、その立ち位置などで迷っていたりします。

また、思春期になると親との距離を意識し始める子も出てきます。これは成長の証ですが、親としては、これもまた心配の種で「いったい何を考えてるのかな、大丈夫かな。」と感じます。一番近い関係だからこそ、子どもには、親に言いたくない事、知られたくない事も出てきます。

私たち教職員は、学校での子どもたちの「社会の中での姿」を見ています。お子さんの、例えば「友達とのかかわり方」、「集団での振る舞い方」、「困ったときの対応」などです。おそらくそれらは「家庭とは違う一面」であると思います。だからこそ、家庭と学校の連携が大切になります。親が見ている「家庭での姿」と、教職員が見ている「社会（学校）の中での姿」を共有することで、子どもをより深く理解する事ができます。

そして何より大切なのは、子どもについて「わからない事もある」そして、「あなたを受け入れる」という前提に立つのが大事なのではないかと思います。親の中にそうした覚悟がある事を、もし子どもが感じ取れたら、子どもは安心するのではないのでしょうか？子どもについて「わかる事」と「わからない事」を受け止めながら、学校と家庭が連携し、子どもと向き合う事が、成長を支える大きな土台になっていくと思います。

さて、12月2日から2者・3者面談です。保護者の皆様、お待ちしております。どうぞよろしくお願い致します。（私も（来週かな？）2者面談を控えています。ドキドキしながら行って参ります。）

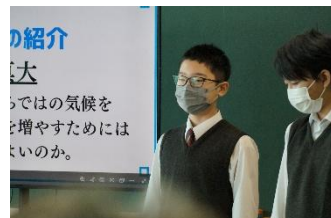
12月と1月の行事予定



12月2日(火)	2・3者面談①午前授業給食有り	1月6日(火)	銭小屋①
3日(水)	2・3者面談②午前授業給食有り	7日(水)	銭小屋②
4日(木)	2・3者面談③午前授業給食有り	14日(火)	冬季休業最終日
5日(金)	2・3者面談④午前授業給食有り	15日(木)	学校再開 全校集会 私立高校推薦入試日(ラサール以外)
8日(月)	ALT 来校	21日(水)	職員会議 家庭学習強調週間(～2/3まで)
17日(水)	職員会議	28日(水)	専門委員会
19日(金)	チャレンジフェスティバル(5・6h)	30日(金)	入学説明会
25日(木)	冬休み前全校集会		
26日(金)	冬季休業開始		



授業参観へお運びいただきありがとうございます！



お忙しい中、ご参観いただきありがとうございました。保護者の皆さんの前で、生徒たちも張り切って、とてもいい表情で活動していました。また、保護者の皆様には、授業にも参加していただいた場面もありました。保護者の皆様と一緒に活動できた事は生徒たちにとっては、思いがけずうれしい瞬間だったのではないのでしょうか。

はこだて広域森林組合より

森林に関わる書籍と書架をいただきました(11月10日)

贈呈式では、はこだて広域森林組合代表理事組合長 月館久治様から、村井校長先生に目録が手渡されました。副組合長理事 吉田崇仁様、参事 鈴木敏也様も贈呈式に列席いただきました。



感謝状が 函館市教育委員会 堤学校教育部長 から、副組合長理事 吉田 崇仁様へ渡されました。



森林や、自然、森に住む生き物たちに関わる書籍です。自然が身近な私たちにとってどの本も興味深いです。生徒の皆さん、是非手に取ってみてください。書架も立派で、木のいい香りがします。大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。